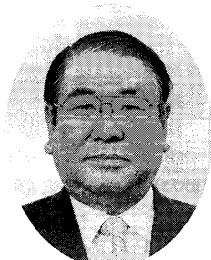


副会長からのメッセージ

変革する社会に貢献する品質管理を目指して



(株)日立製作所 代表執行役副社長
大沼 邦彦

日本を取り囲む世界の情勢は、地球温暖化対応に加え、米国経済の停滞、EC圏の拡大、BRICsの台頭や石油・レアメタルなどの原材料の高騰など大きく変動している。この状況において日本経済は部分的には好調な企業もあるが全体としてはまだ力強い回復基調には至っていない。また、社会的には昨年の一年を代表する漢字に「偽」が選定されたように、問題となる不祥事や事件が続き、安全・安心面での課題も抱えている。さらに、少子高齢化や巨額の赤字財政などの構造的な課題も内在し、日本の将来に対する危機感はより強くなっている。この解決のために政府の長期戦略方針「イノベーション25」では、活力に満ちた経済、豊かで安心できる社会を実現するために、技術の革新に止まらず、社会制度改革、人材育成の改革など社会システム全般にわたる変革の必要性を謳っており、その具体的な施策づくりに動いている。このような状況下では官だけでなく産や学など種々の分野、組織でより高品質で高効率な社会の実現に向けた活動を着実に推進していくことが重要である。

本学会は、日本の国際競争力向上「品質立国-日本の再生」を願って2年前より中期計画を立案し活動しているが、上記情勢に対応し競争力強化のための品質管理活動と並行して、信頼性・安全性を強化する品質管理活動にもさらに力を入れ、安全・安心な社会、力強く発展する社会の復活に貢献する品質管理を積極的に展開・推進することが重要なミッションであると期待されている。

上記イノベーション25では、健康で安全・安心な社会を構築するための戦略重点科学技術として、種々の分野における開発課題を設定しており、高信頼・高安全をキーワードとする多くの技術開発が求

められている。そして、これらの開発を支える基盤技術の一つとして品質管理技術が重要な役割を果たすことは言うまでもないことであり、本学会の活動に対する期待は大きいと思われる。

このために本学会は中期計画で設定した「Qの確保」「Qの展開」「Qの創造」のそれぞれのテーマをPDCAの輪を着実に回し、その成果を社会に提供していくことが重要である。特に従来から取り組んでいる「医療の質・安全部会」や「信頼性・安全性計画研究会」の活動による健康で安全・安心な社会の構築への貢献に加え、新たに活動する原子力安全特別委員会により、CO₂削減に対応したクリーンで安定した電力源として期待される原子力の安全性・信頼性の確立などに対してもタイムリーな成果をあげていくことが期待される。

一方、競争力のある活力のある社会づくりに関しても、先の圓川会長のメッセージにあるように産学連携を強化し、「次世代TQMの構築」プロジェクトや今後大きな役割が期待されるサービス産業における顧客価値創造化など具体的な施策を推進していくことが重要である。

このように本学会を取り巻く状況は大きく変化し、また期待も高くなっているが、「Qの確保」「Qの展開」「Qの創造」の活動をPDCAの輪を継続して回していくことで、日本の変革を支え、先を見据えた活動とその成果により、本学会が大きな貢献をできると考える。

今後、本学会の副会長として変革する日本社会に貢献する日本品質管理学会のポジションの向上と力強く発展する学会の実現を目指し、会長並びに会員各位と協働していきたい。ご支援よろしくお願ひいたします。